

2006 年度

科目名 日本文学概論	対象学科・学年 文学部教福1回生 教育教福1回生	担当者 東 典幸
授業テーマ 文学のいろいろなあり方に触れる。		
授業の概要と目標 普通は日本文学概論というと、文学の定義や文芸用語の解説から始めます。しかし、この授業の目的は、作品を読む、ということ、読んで考える、ということ。そして、言葉の扱いを知ること。皆さんにはまずそれが必要な基礎作業だと思います。そのため、ときどき日本文学以外の作品も扱うことになるでしょう。		
評価方法 毎回、授業内容を題材にしてレポートを授業時間内に提出してもらおう。		
テキスト プリントを配布。	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 「動物の謝肉祭」。音のイメージ、言葉の連想。 2. 森鷗外、石原吉郎「かちかち山」をめぐって I 3. 芥川龍之介、武者小路実篤、倉橋由美子「かちかち山」をめぐって II 4. 太宰治 I 「かちかち山」をめぐって III 5. 「うる星やつら」漫画とアニメ I 6. 「風の谷のナウシカ」漫画とアニメ II 7. 「青い春」「桜の園」タカラヅカおとこのこ、おんなのこ。 8. 太宰治「走れメロス」。 9. 「まざあぐらす」北原白秋訳と谷川俊太郎訳、イギリスの手遊び。 10. 芥川龍之介「蜘蛛の糸」。オリジナル作品との比較。 11. アンデルセンと宮沢賢治「みにくいアヒルの子」と「よだかの星」 12. ハイアイアイ島の動物。核実験で吹き飛ばしてしまう動物たち。理系の言葉。 13. 「新解さんの謎」。辞書にたまたまよう文学性とイデオロギー。 14. 童謡の詩人 I、三木露風「あかたんぼ」、谷川俊太郎「鉄腕アトム」。 15. 童謡の詩人 II、金子みすず。		